

## 1 資金の獲得

ここでは、現行の国立学校特別会計制度における資金獲得について、新規概算要求(以下「概算要求」と外部資金の獲得にわけて伺います。

### I 概算要求

問1 平成15年度分の概算要求(平成14年度に検討作業を行なったもの)の事項は、最終的にどのような組織で(もしくは誰が)決めましたか。「制度の上では」「実質的には」のそれぞれについてお答えください。

制度の上では	実質的には
評議会(41)、教授会(13)、学長(12)、その他(15)	学長(43)、評議会(5)、教授会(2)、その他(31)

問2 平成15年度分の概算要求の優先順位は、最終的にどのような組織で(もしくは誰が)決めましたか。「制度の上では」「実質的には」のそれぞれについてお答えください。

制度の上では	実質的には
評議会(34)、学長(23)、教授会(9)、その他(14)	学長(52)、評議会(2)、教授会(1)、その他(26)

問3 これまでの5年間(平成11年度分概算要求以降)で、概算要求に関する事項や優先順位的意思決定が困難になったケースがありましたか。該当するもの **1つに○** を記入してください。

	該当するもの1つに○を記入
1 なかった	90.2
2 あった	9.8

付問 **2と答えた方**にお尋ねします。**具体的なケース**を下欄にお答えください。  
(例えば「新規要求事項(独立研究科の新設)要求をめぐる関連学部の変員調整について」など)

- ・専門職大学院の設置にあたって、各学科等からの振替定員の調整
- ・新規要求事項(大学改革、総合大学院設置の改組、新設要求)をめぐる関連学部の変員調整
- ・学内共同教育研究施設の整備要求をめぐる整備要員の調整
- ・新規要求事項「法科大学院」に関する定員調整等の取りまとめ
- ・附属中学校及び附属高等学校の附属中等学校への再編に当たっての附属学校間の調整
- ・センター設置の際、振り替え要因の全学調整
- ・概算要求において、統合に伴う組織・体制作り全般について手間取った。

問4 平成15年度分概算要求の優先順位を決めるにあたって、以下の点をどの程度重視しましたか。A～K それぞれについて、**あてはまる番号に○**をつけてください。また、A～Kのうち、**最も重視したものを1つ選び、◎を記入**してください。

	特に重視した	やや重視した	どちらともいえない	あまり重視しなかった	重視しなかった	最も重視したものの1つに◎
A 高等教育・学術政策の一般的動向	43.9	50.0	6.1	0.0	0.0	(7)
B 学生・親からのニーズ	12.2	32.9	47.6	4.9	2.4	(2)
C 企業等からのニーズ	9.8	30.5	42.7	11.0	6.1	(0)
D 地域からのニーズ	20.7	42.7	32.9	2.4	1.2	(1)
E 他大学の概算要求の申請状況	1.2	29.3	32.9	26.8	9.8	(0)
F 他大学の予算獲得の実績	1.2	22.0	40.2	24.4	12.2	(0)
G 大学としての理念・計画等との整合性	69.5	25.6	3.7	0.0	1.2	(26)
H 大学にとっての要求事項の重要性	80.5	18.3	1.2	0.0	0.0	(30)
I 部局間のバランスへの配慮	2.5	33.8	38.8	18.8	6.3	(1)
J 文部科学省との事前協議の結果	42.7	43.9	12.2	1.2	0.0	(10)
K その他（法的に設置が必要なもの、法人化後の組織、学内再編とのかかわり、大学の将来性）	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	(0)

問5 平成15年度分概算要求にあたって、どのような点に問題を感じましたか。A～M それぞれについて、**あてはまる番号に○**をつけてください。また、A～Mのうち、**特に問題があると感じたものを1つ選び、◎を記入**してください。

	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない	特に問題のあるものの1つに◎
A 高等教育・学術政策の一般的動向把握が不足	1.2	17.1	30.5	31.7	19.5	(1)
B 学生・親からのニーズ把握が不足	1.2	15.9	50.0	20.7	12.2	(1)
C 企業等からのニーズ把握が不足	1.2	18.3	41.5	23.2	15.9	(3)
D 地域からのニーズ把握が不足	0.0	17.1	35.4	29.3	18.3	(4)
E 他大学の申請状況の把握が不十分	0.0	9.8	41.5	30.5	18.3	(2)
F 他大学の獲得実績の把握が不十分	1.2	8.5	36.6	36.6	17.1	(1)
G 部局から提出される魅力的な概算要求事項が不十分	4.9	46.3	14.6	19.5	14.6	(30)
H 概算要求事項や優先順位についての執行部での検討が不十分	0.0	7.3	18.3	39.0	35.4	(1)
I 概算要求案と大学としての理念・計画等との整合性が不十分	1.2	9.8	17.1	26.8	45.1	(3)
J 概算要求案の作成にあたって事務局と各部局との連携が不十分	0.0	9.8	18.3	35.4	36.6	(1)
K 部局間バランスへの過剰な配慮	2.5	4.9	8.6	46.9	37.0	(4)
L 文部科学省との事前協議が不十分	2.4	13.4	20.7	34.1	29.3	(4)
M その他（獣医学教育の動向、文科省から振替要員の要求が強い）	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	(2)

問6 平成16年4月に国立大学法人が発足し、概算要求の査定がこれまでより競争的になった場合、以下のA～Nの取組をどの程度強化する必要がありますか。あてはまる番号に○をつけてください。また、A～Nのうち、**最も強化が必要なものを1つ選び、◎を記入**してください。

	特に必要	やや必要	どちらとも いえない	あまり必要 でない	必要 でない	最も強化が 必要なもの 1つに◎
A 高等教育・学術政策の一般的動向の把握	61.0	36.6	2.4	0.0	0.0	(5)
B 学生・親からのニーズ把握	40.2	48.8	9.8	1.2	0.0	(3)
C 企業等からのニーズ把握	36.6	46.3	14.6	2.4	0.0	(0)
D 地域からのニーズ把握	52.4	39.0	8.5	0.0	0.0	(3)
E 他大学の申請状況の把握	2.4	30.5	50.0	12.2	4.9	(0)
F 他大学の獲得実績の把握	2.4	31.7	47.6	13.4	4.9	(0)
G 各部局に対する積極的な概算要求事項の提出 要求	37.8	45.1	15.9	0.0	1.2	(6)
H 概算要求事項や優先順位についての役員会の 権限強化	41.5	50.0	7.3	1.2	0.0	(5)
I 大学の中期目標・計画との整合性の向上	81.7	17.1	1.2	0.0	0.0	(32)
J 概算要求案の作成について事務局と各部局と の連携強化	28.0	58.5	13.4	0.0	0.0	(2)
K 文部科学省の諸政策に関する積極的な情報収 集	48.8	47.6	3.7	0.0	0.0	(6)
L 説得的な概算要求のための実績評価の導入	50.0	40.2	9.8	0.0	0.0	(5)
M 概算要求事項の受入れにふさわしい学内組 織・体制の整備	44.4	44.4	11.1	0.0	0.0	(4)
N その他 ( )	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(1)

問7 法人化以降の概算要求の査定がこれまでより競争的になった場合、貴学の概算要求は認められやすくなると思いますか。あてはまるもの **1つに○** を記入してください。

	該当するもの1つに○を記入
1 認められやすくなると思う	8.5
2 どちらとも言えない	72.0
3 認められにくくなると思う	19.5

問8 問7のように考える理由について、自由にお書き下さい。

## Ⅱ 外部資金

問 9 貴学は、外部資金の獲得に関する全学的な戦略・方針をもっていますか。あてはまるもの 1つに○ を記入してください。回答が「1」「2」の場合は、作成(予定)年度もお答えください。

	あてはまるもの1つに○を記入
1 もっている	24.4 開始年度:H11(1)、H12(2)、H13(2)、H14(4)、H15(5)、H16(3)
2 現在作成中である	13.4 開始年度:H14(1)、H15(1)、H16(9)
3 近く作成する計画がある	56.1
4 当面作成の予定はない	6.1

問 10 (1)右下のA～Jに示した外部資金の中で、現在、貴学が全学的に重視しているものを 3つあげてください。  
(2)法人化後の経営戦略上、特に重視したいと考えるものをA～Jから 1つあげてください。

	(1)現在重視 <u>3つまで</u>	(2)法人化後最も重視 <u>1つのみ</u>
A 科研費(文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金)	(78)	30.0
B 共同研究	(33)	11.3
C 受託研究	(16)	2.5
D 奨学寄附金	(19)	10.0
E 21世紀COE(卓越した研究拠点)プログラム	(54)	30.0
F 特色ある教育支援プログラム(以下「COL」)	(27)	10.0
G 地域貢献特別支援事業費(以下「地域貢献」)	(12)	2.5
H 他省庁科研費(厚生労働省等の科学研究費補助金)	(1)	0.0
I その他(政府系研究プログラム資金)	(3)	2.5
J 特に重視しているものはない	(1)	1.3

問 11 文部科学省・日本学術振興会の科研費獲得に関して、貴学が現在全学的に実施している取組について該当するもの すべてに○ を記入してください

	該当するもの すべてに○
A 募集についての案内をホームページに掲載	(55)
B 募集についての案内をメール等で全教官に通知	(67)
C 事務局(研究協力課等)で募集内容を検討し、関係のある教官へ通知	(29)
D 科研費関係者(文部科学省等)による説明会の開催	(47)
E 学内の科研費審査委員経験者による説明会の開催	(30)
F 学内の科研費採択実績を持つ教官による説明会の開催	(30)
G 学長・部局長等による申請書の内容チェックと指導	(11)
H 事務局(研究協力課等)による、申請書の不備等のチェック	(78)
I 学長・部局長等による教官に対する科研費申請の要請	(75)
J 学長・部局長等による科研費非申請者に対するヒアリングの実施(非申請理由の聴取等)	(6)
K 科研費獲得にむけてのインセンティブ制度(科研費申請者に校費の上乗せをするなど)の導入	(38)
L 各教官の科研費獲得状況についてのデータベースの作成と公開	(25)
M その他(科研費申請促進チーム(教員組織)の設置、申請件数、内定件数等の公表)、公募要領、申請書作成マニュアルの全教官への配布、本学の中期目標・計画に1人最低1件以上申請することを明記、研究戦略室による説明会等、研究計画調書作成マニュアルを作成してHPに掲載、学内重点配分経費の申請の際の応募条件)	(7)

問 12 前問の A～M の取組のうち、申請件数、採択件数、獲得総額それぞれの増加に**効果をあげていると思われるものをすべて**あげてください(なお、特に有効な取組がないと考える場合は「×」と答えてください)。また、このうち**最も効果が高いと思われるものを1つ**あげてください。

		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
申請件数	効果あり すべて	(37)	(41)	(17)	(29)	(21)	(25)	(5)	(16)	(64)	(4)	(25)	(7)	(3)
	最も効果高い 1つ	2.9	12.9	0.0	5.7	2.9	2.9	0.0	0.0	54.3	1.4	12.9	1.4	2.9
採択件数	効果あり すべて	(13)	(15)	(8)	(26)	(25)	(25)	(9)	(51)	(32)	(1)	(11)	(4)	(2)
	最も効果高い 1つ	0.0	1.7	1.7	1.7	22.4	8.6	6.9	24.1	20.7	1.7	6.9	1.7	1.7
獲得総額	効果あり すべて	(13)	(19)	(12)	(23)	(21)	(20)	(9)	(36)	(42)	(1)	(12)	(4)	(2)
	最も効果高い 1つ	0.0	3.8	7.5	3.8	7.5	11.3	1.9	5.7	45.3	0.0	9.4	1.9	1.9

問 13 科研費(文部科学省・日本学術振興会)以外の外部資金の獲得に関して、貴学が現在全学的に実施している取組について該当するもの**すべてに○**を記入してください。

	該当するもの すべてに○
A 募集についての案内をホームページに掲載	(56)
B 募集についての案内をメール等で全教官に通知	(53)
C 受託・共同研究促進のための教官研究活動データベースやシーズ集の作成と公開	(49)
D 事務局(研究協力課等)で募集内容を検討し、関係のある教官に通知	(47)
E 地域共同研究センター等を通じた外部資金の獲得強化	(51)
F TLO・知財本部を通じたライセンス収入の獲得強化	(31)
G 学内の外部資金獲得実績をもつ教官による説明会の開催	(9)
H 学長・部局長等による教官に対する外部資金の獲得要請	(59)
I 外部資金の獲得を奨励するためのインセンティブ制度の導入	(32)
J 外部資金獲得状況(科研費含む)についての教官別データベースの作成と公開	(17)
K その他(希望する教員に募集についての案内をメール等で通知する、研究戦略室の支援、研究室紹介ツアー・シンポジウム・研究会の開催、執行部の営業活動)	(5)

問 14 前問の A～K の取組のうち、獲得件数及び獲得総額の増加に**効果をあげていると思われるものをすべて**あげてください(なお、特に有効な取組がないと考える場合は「×」と答えてください)。また、このうち**最も効果が高いと思われるものを1つ**あげてください。

		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
獲得件数	効果あり すべて	(40)	(38)	(30)	(32)	(40)	(10)	(3)	(42)	(19)	(5)	(2)
	最も効果高い 1つ	8.8	19.1	4.4	5.9	26.5	0.0	1.5	26.5	7.4	0.0	0.0
獲得総額	効果あり すべて	(30)	(27)	(23)	(25)	(39)	(11)	(4)	(38)	(19)	(6)	(3)
	最も効果高い 1つ	6.5	9.7	4.8	3.2	33.9	1.6	3.2	29.0	8.1	0.0	0.0

問 15 文部科学省の COE・COL・地域貢献(以下「COE 等」とする)の予算獲得に関して、貴学が現在全学的に実施している取組について該当するものすべてに○を記入してください。

	該当するもの すべてに○
A COE 等の予算獲得を目標とした学内組織(全学)の設置	(56)
B COE 等の予算獲得を目標とした学内重点・競争的配分資金の手当て	(35)
C COE 等の予算獲得を目標としたスタッフの採用・配置	(14)
D 執行部(学長・副学長等)を中心とするトップダウン方式による申請書の作成	(48)
E 部局を中心とするボトムアップ方式による申請書の作成	(47)
F 執行部(学長・副学長等)による部局提出申請案の検討	(63)
G 審査用プレゼンテーションについての外部コンサルティング等の活用	(4)
H その他(研究戦略室、教育推進室、プロジェクトチームを組織、執行部による申請書作成の指導・助言)	(3)

問 16 COE 等を獲得した大学だけに伺います。前問の A~H の取組のうち、採択に効果があったと思われるものをすべてあげてください(なお、特に有効な取組がないと考える場合は「×」と答えてください)。また、このうち最も効果が高いと思われるものを 1 つあげてください。

		A	B	C	D	E	F	G	H
申請件数	効果あり すべて	(25)	(13)	(5)	(20)	(15)	(32)	(2)	(1)
	最も効果高い 1 つ	18.9	2.7	0.0	24.3	8.1	43.2	0.0	2.7
採択件数	効果あり すべて	(8)	(4)	(2)	(10)	(7)	(16)	(0)	(0)
	最も効果高い 1 つ	15.0	0.0	0.0	40.0	5.0	35.0	0.0	5.0
獲得総額	効果あり すべて	(13)	(5)	(3)	(12)	(8)	(12)	(0)	(0)
	最も効果高い 1 つ	42.9	0.0	0.0	23.8	19.0	14.3	0.0	0.0

問 17 法人化後は研究面で外部資金の重要性が大きくなると予想されます。このことがどのような影響を及ぼすとお考えでしょうか。

(1) 国立大学全体に対して(A~H のそれぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつける)

	そう 思う	やや 思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	そう 思わない
A 教育・研究活動が活性化する	53.8	36.3	8.8	1.3	0.0
B 外部資金の獲得競争を通じて、大学間の序列構造が流動化する	36.3	45.0	16.3	2.5	0.0
C 資金面での政府離れが進行する	2.5	32.5	42.5	17.5	5.0
D 研究が、外部資金の獲得に結びつきやすい領域・テーマにシフトしていく	20.0	55.0	18.8	3.8	2.5
E 研究が、より短期的に成果の出やすい領域やテーマにシフトしていく	16.3	47.5	27.5	6.3	2.5
F 外部資金の獲得に結びつきにくい研究の基盤が弱体化する	11.3	41.3	31.3	12.5	3.8
G 短期的に成果の出にくい研究の基盤が弱体化する	11.4	43.0	27.8	13.9	3.8
H 教官の関心が、これまで以上に教育から研究へシフトしていく	5.0	30.0	42.5	17.5	5.0

(2) **貴学に対して**(A～Hのそれぞれについて、**あてはまる番号1つに○**をつける)

	そう 思う	やや 思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	そう 思わない
A 教育・研究活動が活性化する	41.3	45.0	12.5	1.3	0.0
B 外部資金の獲得競争を通じて、貴大学の大学間序列構造における地位が上昇する	15.0	40.0	30.0	11.3	3.8
C 資金面での政府離れが進行する	2.5	18.8	46.3	27.5	5.0
D 研究が、外部資金の獲得に結びつきやすい領域・テーマにシフトしていく	5.0	50.0	28.8	13.8	2.5
E 研究が、より短期的に成果の出やすい領域やテーマにシフトしていく	3.8	40.0	33.8	18.8	3.8
F 外部資金の獲得に結びつきにくい研究の基盤が弱体化する	7.5	25.0	41.3	18.8	7.5
G 短期的に成果の出にくい研究の基盤が弱体化する	6.3	25.0	41.3	20.0	7.5
H 教官の関心が、これまで以上に教育から研究へシフトしていく	3.8	16.3	47.5	21.3	11.3

## 2. 予算配分と資金・施設・スタッフの効率的・効果的利用

### I. 予算配分

ここでは、予算配分について伺います。

問 18 平成 14 年度分の予算配分方針は、最終的にどのような組織で(もしくは誰が)決めましたか。「制度の上では」「実質的には」のそれぞれについてお答えください。

制度の上では	実質的には
評議会(40)、教授会(13)、予算委員会(財務委員会等含む)(7)、学長(4)、その他(16)	予算委員会(財務委員会等含む)(32)、学長(13)、評議会(7)、教授会(2)、その他(26)

問 19 これまでの 5 年間(平成 10 年度予算配分以降)で、予算配分方針に関する意思決定が困難になったケースがありましたか。該当するもの **1つに○**を記入してください。

	該当するもの1つに○を記入
1 なかった	80.5
2 あった	19.5

付問 **2 と答えた方にお尋ねします。具体的なケース**を下欄にお答えください(例えば、「基盤校費制への移行に際して各部局への配分単価の変更を検討したが、合意が得られなかった」など)。

問 20 平成 14 年度の予算配分について伺います。以下の各経費の配分額についてどのようにお考えですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。また、配分額が最も不十分であったと思われる経費を1つ選び、◎を記入してください。

	十分	まあ十分	どちらともいえない	やや不十分	不十分	最も不十分であったものに◎
A 全学共通経費	2.5	31.3	28.8	35.0	2.5	(3)
B 学長等による裁量的経費	1.3	23.8	22.5	40.0	12.5	(7)
C 全学的な重点・競争的配分経費	2.5	12.5	18.8	51.3	15.0	(12)
D 全学的な施設設備費	1.2	7.4	16.0	27.2	48.1	(27)
E 部局共通経費	1.4	8.6	61.4	25.7	2.9	(2)
F 部局長等による裁量的経費	1.4	5.7	37.1	41.4	14.3	(2)
G 部局における重点・競争的配分経費	0.0	4.3	38.6	41.4	15.7	(4)
H 部局における施設設備費	1.4	1.4	31.4	32.9	32.9	(2)
I 各教官の基盤的な教育研究費	1.3	10.0	28.8	45.0	15.0	(9)

問 21 貴学の予算配分方針について伺います。

(1)平成 14 年度の予算配分方針は、方針 A・方針 B のどちらにより近かったですか。以下のイ～ホについて、最もあてはまる番号 1つに○をつけてください。

	方針 A	A に近い	どちらともいえない	B に近い	方針 B		
イ 本部予算	増額した	2.5	13.6	59.3	19.8	4.9	圧縮した
ロ 部局に配分する経費の用途等	本部で集中的に管理した	6.5	7.8	26.0	20.8	39.0	部局で分権的に管理した
ハ 教育研究費の配分	教育研究活動が活発な教官や部局に、競争的・傾斜的に配分した	11.1	27.2	28.4	18.5	14.8	可能な限り平等的・安定的に配分した
ニ 学長・部局長等による裁量的経費	拡大した	8.6	21.0	63.0	7.4	0.0	抑制した
ホ 全学レベルの間接経費・オーバーヘッド	積極的に徴収した	4.9	23.5	50.6	7.4	13.6	徴収を極力抑えた

(2)法人化以降の予算配分方針は、方針 A・方針 B のどちらをとりたいとお考えですか。以下のイ～ホについて、最もあてはまる番号を 1つに○をつけてください。

	方針 A	A に近い	どちらともいえない	B に近い	方針 B		
イ 本部予算	増額する	8.6	22.2	28.4	35.8	4.9	圧縮する
ロ 部局に配分する経費の用途等	本部で集中的に管理する	6.5	14.3	23.4	24.7	31.2	部局で分権的に管理する
ハ 教育研究費の配分	教育研究活動が活発な教官や部局に、競争的・傾斜的に配分する	18.5	58.0	16.0	4.9	2.5	可能な限り平等的・安定的に配分する
ニ 学長・部局長等による裁量的経費	拡大する	33.3	44.4	18.5	3.7	0.0	抑制する
ホ 全学レベルの間接経費・オーバーヘッド	積極的に徴収する	25.9	51.9	19.8	2.5	0.0	徴収を極力抑える



## Ⅱ.資金・施設・教職員の効率的・効果的利用

以下では、資金・施設・教職員を効率的・効果的に利用するための全学的な取り組みについて伺います。

- 問 22 貴学は、資金・施設・教職員の効率的・効果的利用に関する全学的な戦略・方針をもっていますか。**資金・施設・教職員のそれぞれについて、あてはまるもの 1 つに○**を記入してください。回答が「1」「2」の場合は、作成(予定)年度もお答えください。

	あてはまるもの1つに○を記入					
	資金		施設		教職員	
1 もっている	14.3	S48(1) H15(1) H12(4) H16(2) H13(1) H14(2)	43.6	S61(1) H14(9) H11(2) H15(6) H12(7) H16(1) H13(6)	28.0	S48(1) H14(5) H9(1) H15(7) H11(1) H16(3) H13(1) H17(1)
2 現在作成中である	14.3	H15(1) H16(9)	15.4	H15(3) H16(8) H17(1)	20.0	H15(3) H16(10) H17(2)
3 近く作成する予定がある	59.7		33.3		45.3	
4 当面作成の予定はない	11.7		7.7		6.7	

- 問 23 資金の効率的・効果的利用のために、貴学が現在全学的に実施している取組について該当するもの**すべてに○**を記入してください。

	あてはまるもの すべてに○
A 教官・研究室単位の光熱水料・通信費等の計上	(15)
B 契約・入札などの本部集中化	(75)
C 備品等の共同購入	(44)
D ISO14001 (環境マネジメントシステムに関する認証) の取得	(14)
E 事務・教務の電算化 (在学証明書等の自動発行等)	(80)
F 予算執行状況の常時把握システムの導入	(59)
G 電灯の自動消灯・点灯装置の設置	(45)
H 長期休暇期間における一斉休業の実施	(5)
I アウトソーシング (外部委託) による人件費の節減	(48)
J 学内資料のペーパーレス化の促進	(64)
K その他 ( 電話の契約形態の見直し、最大電力量の抑制等教育研究費の重点配分 )	(4)

- 問 24 前問の A~K の取組のうち、**効果をあげていると思われるものをすべて**あげてください(特に有効な取組がないと考える場合は「×」と記入)。また、このうち**最も効果が高いと思われるものを 1 つ**あげてください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
効果あり すべて	(9)	(47)	(23)	(6)	(52)	(28)	(23)	(0)	(26)	(24)	(4)
最も効果高い 1つ	4.5	25.8	6.1	4.5	28.8	4.5	6.1	0.0	10.6	4.5	4.5

問 25 施設の効率的・効果的利用のために、貴学が現在全学的に実施している取組について該当するものすべてに○を記入してください。

	あてはまるもの すべてに○
A 施設の利用状況の把握（教室の稼働率等）	(74)
B 施設の有料での貸出し促進（教室・体育館等）	(29)
C 学外施設のレンタル利用による経費節減（貸しビル等）	(6)
D スペース課金制の導入（施設の利用面積等による課金）	(22)
E PFI（公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法）の利用	(11)
F 他大学等との施設の共同利用	(11)
G 学内での共同利用スペースの拡大	(63)
H 部局間での施設の共同相互利用の促進	(37)
I その他（ サテライト教室 ）	(2)

問 26 前問の A～I の取組のうち、効果をあげていると思われるものをすべてあげてください（特に有効な取組がないと考える場合は「×」と記入）。また、このうち最も効果が高いと思われるものを1つあげてください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
効果あり すべて	(36)	(9)	(2)	(8)	(6)	(4)	(45)	(19)	(2)
最も効果高い 1つ	25.0	3.6	3.6	5.4	5.4	3.6	39.3	12.5	1.8

問 27 教職員の効率的・効果的配置のために、貴学が現在実施している取組、および今後推進したい取組がありましたら、該当するものすべてに○を記入してください

(1)職員について

	現在実施している取組 該当するものすべてに○	今後推進したい取組 該当するものすべてに○
A 全学的見地からの採用・配置	(57)	(35)
B 本部による定員の留保	(37)	(34)
C 専門的職員の外部からの採用	(11)	(60)
D 外部コンサルティングの利用	(21)	(41)
E その他（ 研修の充実 ）	(0)	(3)

(2)教員について

	現在実施している取組 該当するものすべてに○	今後推進したい取組 該当するものすべてに○
A 全学的見地からの採用・配置	(38)	(37)
B 本部による定員の留保	(49)	(41)
C サバティカル制度の利用	(6)	(44)
D その他（ 任期付教員の活用、定年に関する特例、任期制導入制度の活用 ）	(3)	(3)

問 28 貴学において、学長が果たす役割について伺います。

- (1)現在、ご自身が学長として果たしている中心的な役割は、どのようなものですか。下の A～D から、重要なものの順に**2つまで選び**、記号を記入してください。
- (2)法人化後、学長としての役割はどのようなものを中心になるとお考えですか。下の A～D から、重要なものの順に**2つまで選び**、記号を記入してください。

		A	B	C	D
現在	最も重要	41.8	48.1	3.8	6.3
	2番目に重要	24.1	29.1	24.1	22.8
法人化後	最も重要	83.8	7.5	2.5	6.3
	2番目に重要	12.5	43.8	16.3	27.5

- |   |                                  |
|---|----------------------------------|
| A | リーダー型（学内の管理運営に関して強いリーダーシップを発揮する） |
| B | 調整者型（各部署の意見を調整し、全学の方針をまとめ上げる）    |
| C | 行政者型（評議会または役員会の決定を専ら執行する役割を担う）   |
| D | 大学の顔型（対外的な大学の顔としての役割に重きを置く）      |

問 29 法人化後における大学の財務管理について、学長としてどのように対応しようとお考えですか。A～F それぞれについて、あてはまるもの **1つに○**をつけてください。

	する	どちらとも いえない	しない		
A 運営費交付金の算定ルールに準拠して配分を行う	11.4	21.5	41.8	17.7	7.6
B 定員管理から人件費管理に移行する	29.1	38.0	21.5	8.9	2.5
C 当初予算に対する経費節減・増収を部局に還元するメリット制を導入する	17.9	48.7	29.5	3.8	0.0
D 教育、研究、社会貢献、管理等の機能別予算管理を導入する	21.5	44.3	26.6	2.5	5.1
E 授業料の改定（学部別授業料の設定を含む）を行う	0.0	5.0	37.5	15.0	42.5
F 大学債を発行する	0.0	1.3	22.5	17.5	58.8

最後に、学長ご自身のことについて、いくつかお伺いいたします。

問 30 以下の各項目について、( )内にご回答ください。

1 年齢 ( 平均 64.95 )歳

2 性別 ( )

3 現職に就いたのは

4 最終出身大学 ( )大学  
( )学部

5 最終出身大学院 ( )大学院 ( )研究科

6 これまでの部局長・役職経験(役職・在職年月)

--

7 当該調査結果を取りまとめた報告書の郵送を希望されますか ( 1 はい 2 いいえ)

質問は以上です。

お忙しい中、最後までご回答いただきましてありがとうございました。

なお、法人化後の財務経営のあり方について、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。